

# 地域包括ケア会議とは

## (目的)

第1条 総社市地域包括ケア会議は、**地域包括ケアシステムを構築し**、地域における多様な社会資源の総合調整を行い、解決困難な問題や広域的な課題について検討し、新たなサービスの構築や、広域的な支援体制の整備を図ることにより、**高齢者等が安心していきいきとした生活を送れるまちづくりを行うこと**を目的とする。

基本理念：住み慣れた地域で 安心していきいきと暮らせるまち

地域

(1) 多様な主体による地域づくり

(2) 地域で集える場、活躍できる場の充実

安心

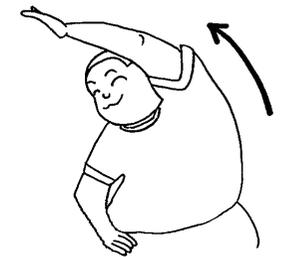
(1) 認知症高齢者を支える体制強化

(2) 虐待・犯罪の防止と防災体制の強化

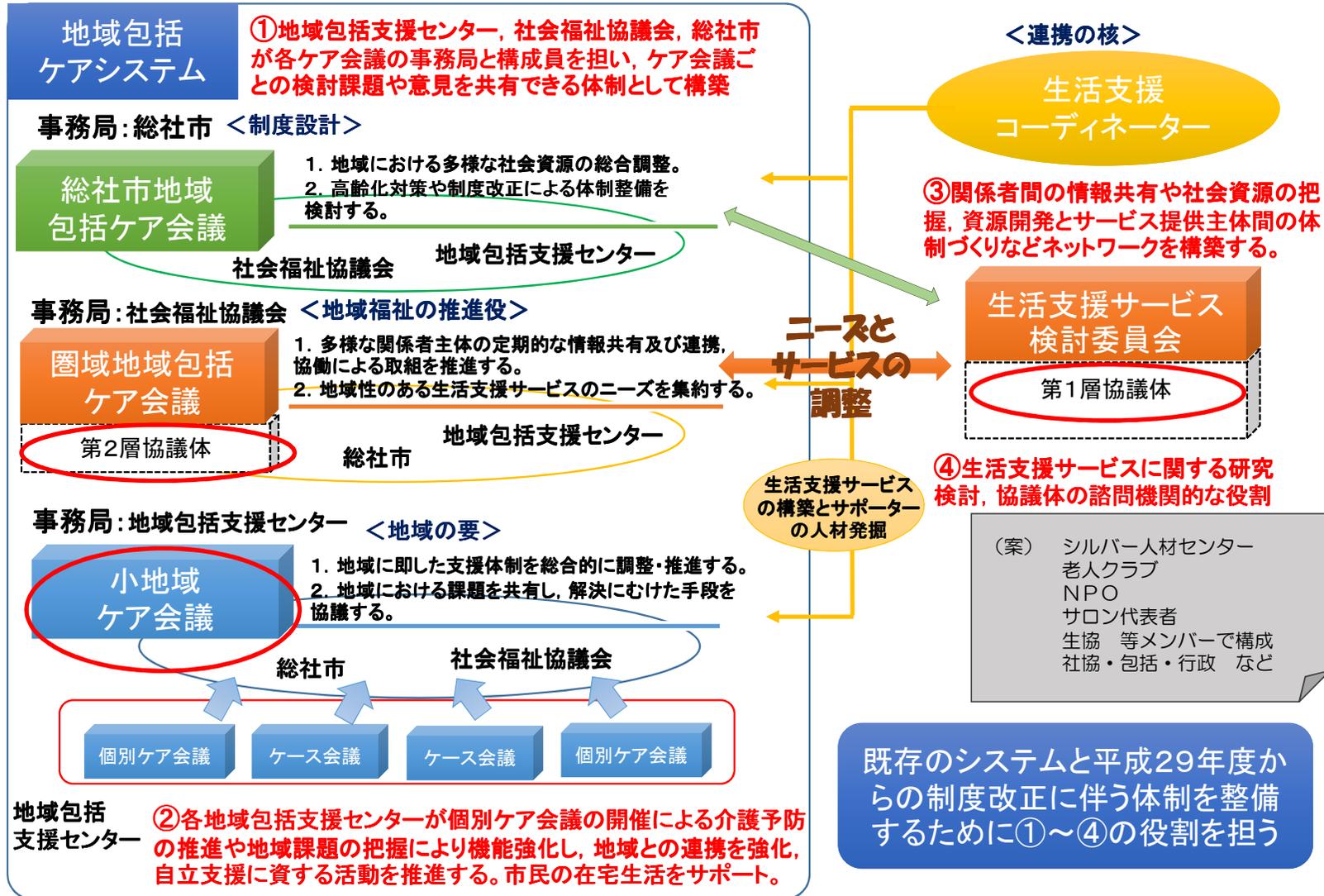
健康

(1) 生活習慣病予防の推進

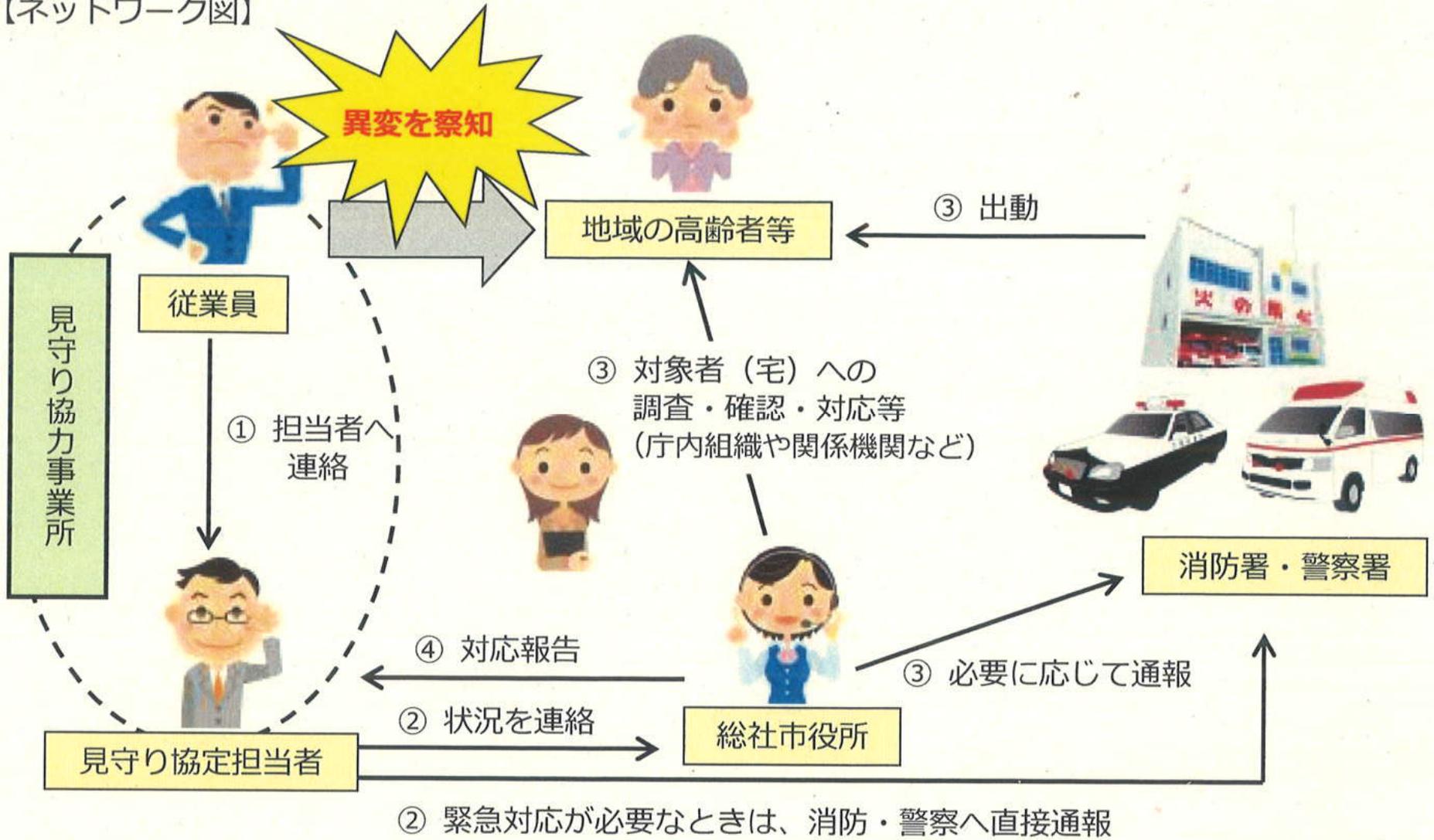
(2) 要介護状態にならないための介護予防の推進



# 地域包括ケアシステムと生活支援体制整備事業の役割



【ネットワーク図】



# 総社市認知症施策

(新オレンジプラン・総社市第6期介護保険事業計画に基づく)

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進(平成28年3月末 3,524人)  
市中心部(福祉センター)で毎月開催(新)

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

認知症初期集中支援チーム(新) 平成28年度設置予定(長寿介護課内に設置)

III 若年性認知症施策の強化

若年性認知症の人の把握・「ひまわりの会」への支援 及び 対象者の参加の検討

IV 認知症の人の介護者への支援

認知症カフェの開催

圏域に1か所設置をめざす 平成28年5月末 (中央部4、東部0、西部1、北部1)

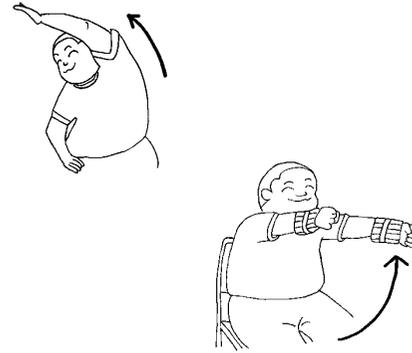
V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

SOS(そうじゃ おかえり サポート)システムの開始(新)



# いきいき百歳体操

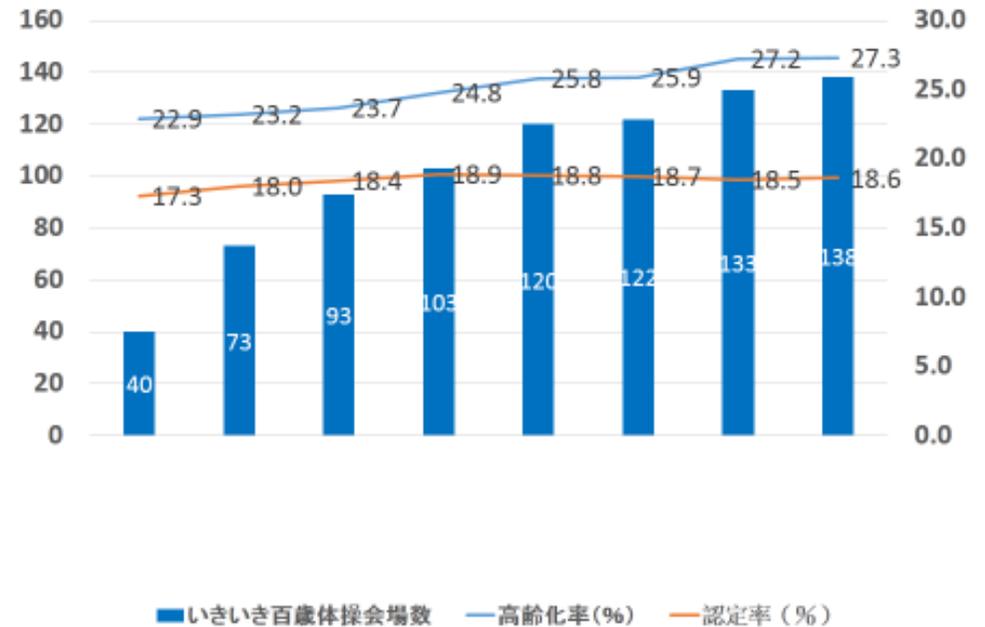
**1回あたり39分、錘をつけて行う筋力体操。**  
**週1回から週2回、継続して行う。**  
**準備体操、筋力運動、整理体操からなる。**



## 実施者からの声

- 体が軽くなった
- 動きやすくなった
- 階段の昇降が楽になった
- 背の高い車にすっと乗れるようになった  
等体調や生活に効果を実感している。

総社市いきいき百歳体操の伸びと高齢化率・認定率推移



## ○通所型サービスの概要

介護予防・日常生活支援総合事業におけるサービスについて

区分	介護予防相当通所サービス (現行相当サービス)	基準緩和型通所サービス	住民主体の通いの場	短期集中予防サービス
提供者	指定事業者	指定事業者	地域住民	専門職(事業所委託)
内容	従来の通所介護と同様のサービス	利用者の日常生活を拡大させる訓練 など	住民主体による要支援者を中心とした自主的な通いの場	専門職の介入による、機能向上, 改善
送迎	送迎あり	送迎あり	送迎なし	送迎あり
状態像	認知症等, 機能訓練の継続が必要な人や疾病のある人	生活不活発病に起因する機能低下で気概や意欲の低下した人。	閉じこもりがちな人や社会参加が縮小されている人	退院後, 3ヶ月間の専門的な訓練により予防活動が期待できる人

## ○訪問型サービスの概要

区分	介護予防相当訪問サービス (現行相当サービス)	住民主体の生活支援サービス	生活支援
提供者	指定事業者	地域住民	
内容	訪問介護員による「身体介護」及び「生活援助」	自立支援のための見守りの援助, 日常的な家事への支援	
目的	日常生活上の支援と, 身体機能や生活機能向上のための訓練	地域のつながりを基盤とした日常生活支援。	
状態像	認知症等, 機能訓練の継続が必要な人や疾病のある人や自らの生活管理が困難, 地域との関係性の構築が出来ないケース	基本動作は自立しながらも, 援助があることで日常生活を営むことが出来る人, 気概や意欲の低下した人	

# 総社市の地域包括ケアシステムの今後の課題

## ～現状認識～

- 2025年には団塊の世代が75歳以上になる
- 自助だけではもたない、行政もカバーできない、しきれない

## ・より多くの地域資源の活用

- ⇒ そうじゃ みんなで見守るネットワークの拡大
- ⇒ 百歳体操会場の個性化など生活支援サービスの充実・多様化

## ・それぞれの会議の役割と運営方法の明確化

- ⇒ PDCAサイクルに則って地域づくりを議論する共通認識を持つこと。
- ⇒ 「連携」の具体化

(①何かあったときの連絡、②定期的な情報共有、③情報の一元化へと発展を図る。)

- ⇒ 認知症徘徊SOSネットワークシステムの必要性

## ・医療・介護の連携

- ⇒ 在宅医療・介護の拠点及びネットワークの構築・推進

## ～やらないといけないこと～

- 地域包括ケアシステムの構築 ⇒ **受け皿の最大化**
- 元気な高齢者を増やす ⇒ **要介護者の最小化**



## 圏域ケア会議より

### 在宅医療・介護連携に関する課題や不安

- 在院日数短縮，在宅で，地域で，と言うが，受け入れるスキルのない家族をどう支えるのか。
- どれだけの家族が家で見ると言うだろうか。
- 訪問診療のことなど，地域で・・・と言ってもまだまだ情報が少ない。どんな医療サービスが受けられるのか。
- ケアマネジャーのおかげで，在宅での医療，介護も順調に段取りが出来た。  
家庭内のことも把握し，素早く行動してくれた。
- 市外総合病院は，すぐに退院になる。脳梗塞でICUに入っているときから，次のことを考えなければならない。誰か相談に乗ってくれるのか。
- 高額医療費の手続きについて，病院のソーシャルワーカーが勧めてくれた。行政側からはそのようなことを勧めたり，教えてくれる事はない。
- 高齢者の二人暮らし，今でもとてもくたびれている状況がある。  
これ以上になると難しいのではないか。
- 住民も今までとこれからは違ってくるという認識を持たなければならない。

